



3年学年だより

発行日：令和3年12月24日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 8

人権週間について

校長代理 富樫 哲一

12月4日（土）から10日（金）までは、第73回人権週間でした。日本全国、毎年、同じ時期に人権週間があるのですが、皆さんは知っていましたか。今回が「第73回」ということなので、随分前から、人権週間はあったことになります。

法務省の web ページでは、

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、昭和24年（1949年）から毎年、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

と紹介されています。

人権とは何でしょうか。「人間が人間らしく生きる権利」「誰もが生まれながらに持っている権利」「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」…。様々な表現の仕方があると思いますが、いずれにせよ人権は、日本国憲法でも保障されている最も重要な権利と言ってもよいでしょう。

世界的な視点でも、いまだ世界各国で解決されていない、外国人や障害のある人等への差別問題などの人権問題は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するためにも、全世界で解決に向けて取り組んでいかなければならない課題となっています。

さて、本校では、人権教育目標を、

全教育活動を通して

- ・子どもの自尊感情を高め、自身の人権を守るとともに、他者の人権を守ろうとする態度を育てる。
- ・人権にかかわる問題を適切に指導し、人権問題の解決を図ろうとする態度を育てる。

として掲げています。全教育活動とあるのは、教科の授業や、道徳の時間に人権侵害の実態を知る学習や、人権の歴史を理解する学習を通して、人権の大切さを理解してもらうだけではなく、総合的な学習の時間（EGG）で、構成的グループエンカウンター、コミュニケーション研修、EGG体験講座の参加などを通し、豊かな人間関係をつくることも人権教育の一環であることを表します。さらに、人権作文コンテストやよこはま子ども国際平和スピーチコンテストへの参加も人権を尊重する態度を育てる教育活動の一つです。また、12月は「横浜市いじめ防止月間」でもありました。学校で起こりうる「人権問題」として、もしかしたら、皆さんの頭に真っ先に浮かぶかもしれない「いじめ」についても、重大な人権侵害の一つとしてとらえています。時に報道されるような取り返しのつかない、重大な結果につながるようなことがないように、アンケート調査や教育相談などを学校全体で引き続きしっかりと行っていきます。いつもお願いしていますが、困ったことや不安なことがあったら、保護者の方や担任の先生など、周りの大人に躊躇することなく相談してください。私も相談を待っている一人です。

最後に本当に素晴らしいニュースです。

第40回全国中学校人権作文コンテスト中央大会

日本放送協会会長賞

3年 霧生 帆南（きりう はんな）さん 「同情ではなく共感を、そして協力を」

人権作文コンクール全国大会

日本放送協会会長賞

同情ではなく共感を、そして協力を。

神奈川県 横浜市立南高等学校附属中学校 3年

障がいのある方にとっての障壁は、歩道の段差等の物理的なものにはもちろん、情報の行き交いや意思の疎通におけるものにも存在しています。その中で私は、視覚障がいのある方々にとっての障壁のことを考えました。

私は本が好きで、学校で図書委員を務めています。また、図書館にもよく足を運びます。活字を見ることで気持ちが落ち着き、読んだ内容に感動することもあるからです。また、本の感想を他者と交換することもあります。「読書」について考えると、視覚障がいのある方々にとって、点字は活字のような役割を果たします。しかし、点字を読めない視覚障がい者の方にとっては、目が不自由なことで、本から得られる情報や情動を共有しにくい障壁があります。それをどうにかして取り払いたいと、私は考えました。

私は、小学生の時に国語の授業で点字を学びました。たった六点で一文字を表現し、視覚障がいのある方にも情報を伝達できる点字に感動しました。当初は点字を覚え、日常で出会うそれらを読めるようになりたい、という一心でした。けれどその後も興味は深まっていき、小学五年生の時には点字盤を買ってもらい、夏休みの自由課題として本を点訳することにしました。その時、点訳の仕方を参考にするために、横須賀市点字図書館へ行きました。

この図書館を利用する人の多くは、視覚障がいのある方や点訳ボランティアの方です。私は図書館の運営スタッフの方に点訳された本を見せてもらいました。この図書館に来たわけをお話すると、視覚障がいのある女性スタッフの方を紹介してくださいました。その方は点字そのものについて、また、点訳する際の注意点について教えてくださいました。日常的に点字を読んでいるからこそ分かる、点字を読みやすくする工夫等の配慮は、彼女に出会えたからこそ、私にも気付けたことでした。点字についての話の後、私の通う小学校や好きな本についても話したり、彼女に質問をしたりしました。当時小学生だった私にとって、普段全く違う環境で生活している、年齢の離れた方と話す機会はあまりありませんでした。そのため、この経験は、大変貴重なものになりました。そして、その時抱いた私の感覚は、障がいのある方と話した、というものではなく、人生の先輩から色々なことを教えていただいた、というものだったのです。

彼女は目が見えない分、耳からの情報を頼りにしていて、目が見えなくなってから、それ以前よりも聴力が発達したと話していました。普段聞いているラジオは、日常会話の二～三倍の速さだそうで、私も実際に聞かせていただきましたが、全く聞き取れませんでした。障がいがあることで、そうでない人と同じようにはできないことがあっても、障がいのない人にできないことを、障がいのある人ができることもあるのです。

私はこのように、視覚障がいのある方と関わるまでは、障がいのある方に対して「大変なのだろうな」と同情する気持ちを抱いていました。しかし「同情」は「違い」を基盤に相手を思いやることで、「共感」は「同じ」すなわち共通しているところを見つけて向き合うことです。私はこの経験から後者の大切さを学びました。

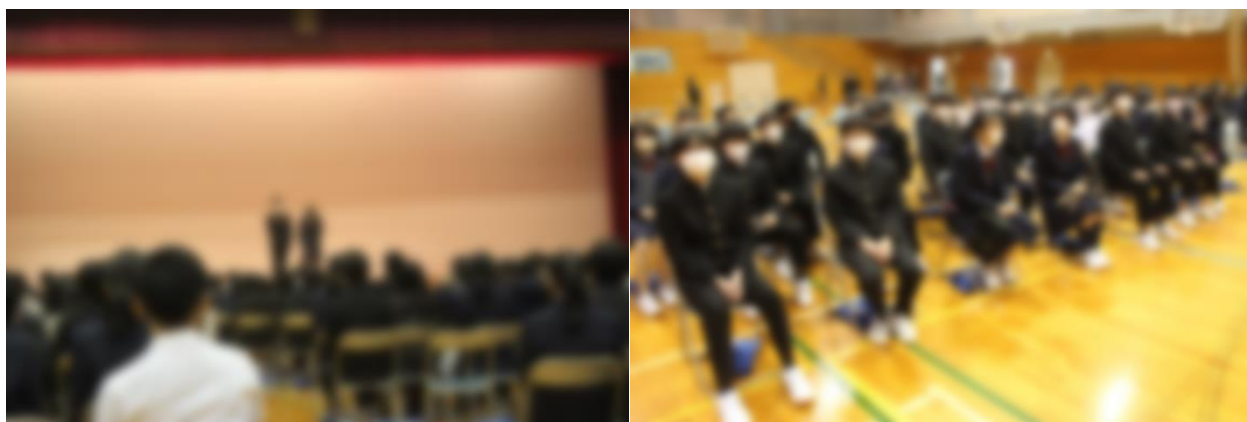
障がいの有無にかかわらず、人にはそれぞれの悩みがあります。「同情」は障がいの「ない」人から「ある」方への一方通行の感情になることがありますが、「共感」は互いを思いやり、双方向に生まれ得る気持ちだと思います。「共感」から発する「協力」で、障がいの有無を越えて、障壁を取り払うことはできないでしょうか。もちろん今の世の中は、障がいのある方が支えられる場面が多いかもしれません。けれど、私の知り合った視覚障がいのある方の元へは、私には捉えられなかった光や音が届いていました。高質かつ迅速なテープ起こしをもその一つだと後に私は知りました。彼らだからこそできることで、私たちも支えてもらう。「助ける・助けられる」関係性を固定化しない。助けが必要な面を互いに理解し合い、助け合える間柄でいられること、それを私は目指したいと思います。

同情ではなく共感を、そして協力を。同じ心に根ざして行われるならばそうありたい。私は社会の一員として、協力の土台となる「橋渡し」のできる存在になりたいと考えています。これからも点字を学んで、点訳を積極的にして、点字を読めない方には、点字の特徴や素晴らしさを届けながら、字だけで表現しきれない感覚的な素晴らしさも共有できるようにしていきたいです。一方通行ではなく双方向に。誰とでも協力し合える社会を築き上げられることを信じて。

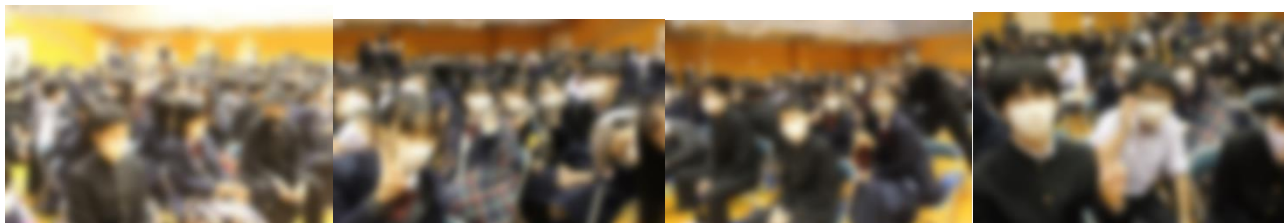
あこがれ 南高祭 憧憬の章

12月10日(金)午後、延期になっていた南高祭憧憬の章が行われました。サプライズなので、当日、アリーナで本物の芸人さんと対面したときの感激はひとしおでした！！

司会は中学委員長の■■■■さん、副委員長の■■■■さん。入念に準備したセリフもアドリブもしっかりと言え、高校3年生、中学2年生2クラスと一緒にみんなで盛り上げ、楽しく鑑賞しました。



(芸人さんの写真はNG。司会の二人。椅子ならべを終えて待っている3年生。)



今回は、議長団書記の ████████ さんのコメントです。

「まずは、こうしてコロナ禍という中でもゲストの方を呼んで憧憬の章ができたことはすごく嬉しかったです。ずっと春や夏くらいから準備してきたことを思うと、展示の部や憧憬の章以外の舞台の部ができなかったのは喪失感があってとてもショックでしたが、おかずクラブさんやコロコロチキチキペッパーズさんが出てきた時はそんなことが吹き飛ばすくらい楽しい時間が過ごせました。

こうやってみんなで一緒になって楽しめるというのはなかなか無い機会だったし、自分たちが作り上げたものでこんなに盛り上がってくれてこの委員会に入ってよかったなと思えました。

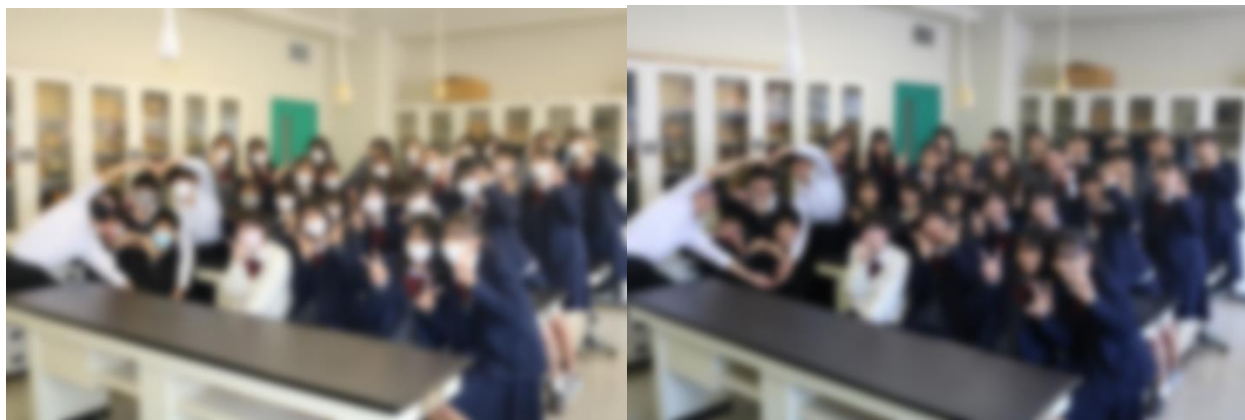
来年の南高祭も楽しみです。

南高祭舞台・展示の部実行委員会議長団書記 ████████

卒業アルバム委員会活動中

8期生の卒業アルバム作成が、委員長 ████████ さんを中心に始まっています。

11月の部活動写真、12月に入ってから個人写真の撮影が行われました。各クラスから有志が集まって、クラスページ、1年生、2年生、3年生の思い出ページを分担しています。3月に行われる研修旅行と卒業式のページ以外はほぼ仕上がりました。写真は、卒業してからの楽しみに！！



3学期は1月7日(金)に始まります。健康に気をつけて、有意義な年末年始をお過ごしください。

持ち物 ○冬休みのしおり ○冬休みの課題 ○お弁当

○金の123456の時間割 ※12月29日～1月3日は閉庁期間です。